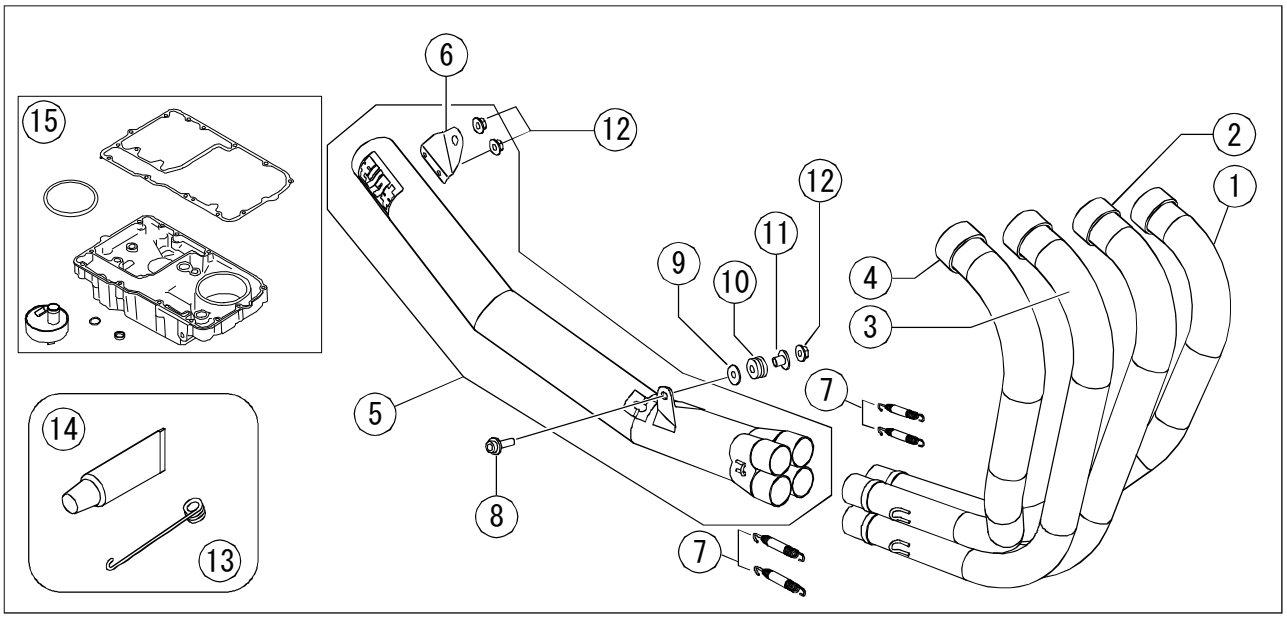
モリワキ
Kawasaki ZEPHYR1100 ONE-PIECE

Part No. 01810-40215-00
01810-40215-A0(オイルパン付属無し)



No.	部品番号	商品名	数	単価（税抜）	No.	部品番号	商品名	数	単価（税抜）
1	18110-40215-00	フロントパイプ #1	1	¥22,000	10	19051-KA3-830	グロメットラバー	1	¥ 144
2	18120-40215-00	フロントパイプ #2	1	¥22,000	11	0312-11250-F010	グロメットカラー	1	¥ 320
3	18130-40215-00	フロントパイプ #3	1	¥22,000	12	94050-08000	フランジナット 8	3	¥ 35
4	18140-40215-00	フロントパイプ #4	1	¥22,000	13	3A32-00000-00T0	スプリングプラー	1	¥ 200
5	18210-40215-00	テールパイプ COMP.	1	¥65,000	14	860-806-0600	シールボンド ME30	1	¥ 600
6	18211-40215-00	テールパイプステー	1	¥ 2,600	15	01120-20215-02	オイルパン ASSY.	1	¥49,000
7	0A02-08709-FH02	スプリング	4	¥ 390	16	00729260	JMCA カード	1	--
8	972010-08030	フランジキャップボルト 8x30	1	¥ 114	17	取扱説明書、排出ガス試験結果証明書		1	--
9	990002-08000	ワッシャ 大8	1	¥ 180					

【製品仕様】

製品名	ZEPHYR1100 ONE-PIECE	商品重量	7 kg (STD 15.7 kg)
適合機種	Kawasaki ZEPHYR 1100 (BC-ZRT10A)	ｵｲﾙ交換	本製品脱着不要
ｷｬﾌﾞﾚﾀｰ	純正状態	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀ	テールパイプの脱着要
ｴﾝｼﾞﾝ仕様	オイルパンの交換が必要	ｾﾝﾀｰｽﾀﾝﾄﾞ	使用不可
排気音量	近接騒音　94dB	その他	排気触媒入り

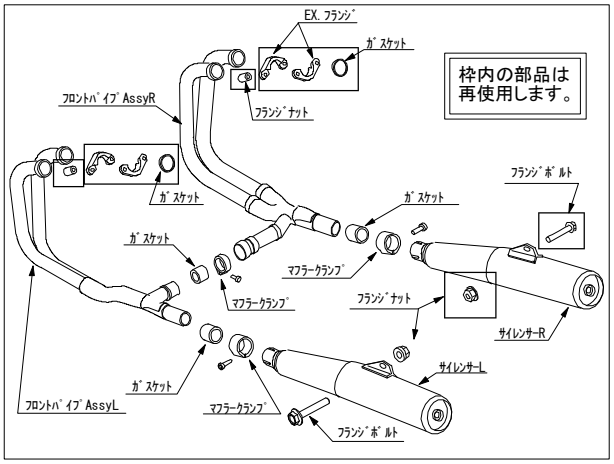
【取り付け工具】

１０、１４ｍｍソケット、メガネレンチ　　各１本
１２、１４ｍｍスパナレンチ　　各１本
６、８ｍｍ ヘキサゴンレンチ　　各１本
トルクレンチ、プラスチックハンマー、作業グローブ、ジャッキ

⚠注意

① 作業する時は、けが、やけど防止のため、軍手を着用して下さい。
② 作業するときエンジンを十分冷ましてから行なって下さい。やけどする恐れがあります。
③ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、**各部の締め付けを十分確認**して下さい。
④ 走行中振動によりボルト類が緩むことがありますので、**定期的に増し締めを行って下さい。**特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
⑤ 取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。**不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりません**のであらかじめご了承下さい。
⑦ 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。

1【純正部品の取り外し】



※　マフラーの後側から順に外していって下さい。

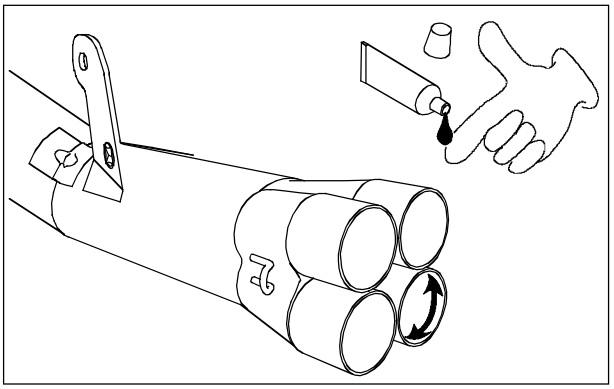
※　純正のフロントパイプＡｓｓｙはかなり重量がありますので、落下防止の為、マフラーの下にジャッキ等を置く事をお勧めします。

①　サイレンサー固定のボルトを外し、サイレンサーを取り外す。

②　エンジンポート部のナットを外し、フロントパイプを外す。

純正マフラーは非常に重いので、床に段ボールやマット等を敷き、落下時のキズ防止をお勧めします。

エンジンポート側のガスケットは再使用しますが、劣化が激しい場合は、ガスケットの交換をお勧めします。
（カワサキ純正部品：11009-1995）



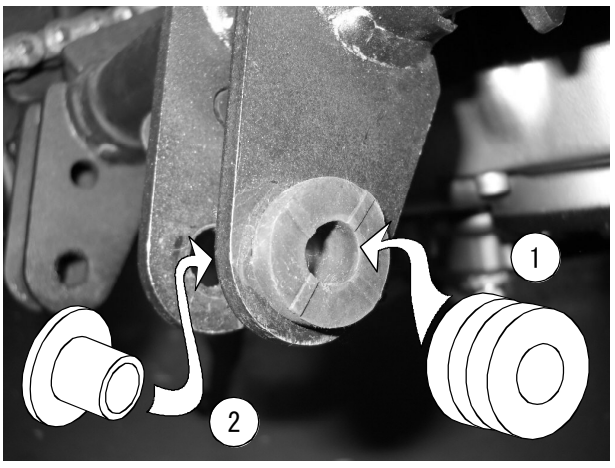
2【オイルパンの交換】
作業内容は、『MORIWAKI OIL PAN KIT 取扱説明書』を参照して下さい。

3【製品の取り付け：部品の準備】

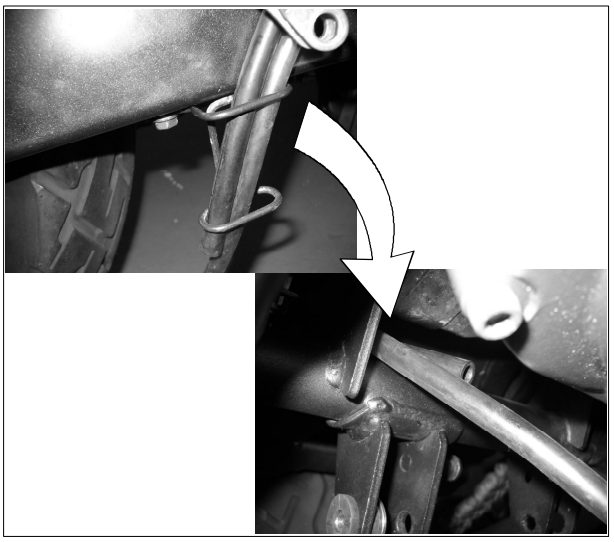
①　サイドスタンドを立て、センタースタンドは取り外します。

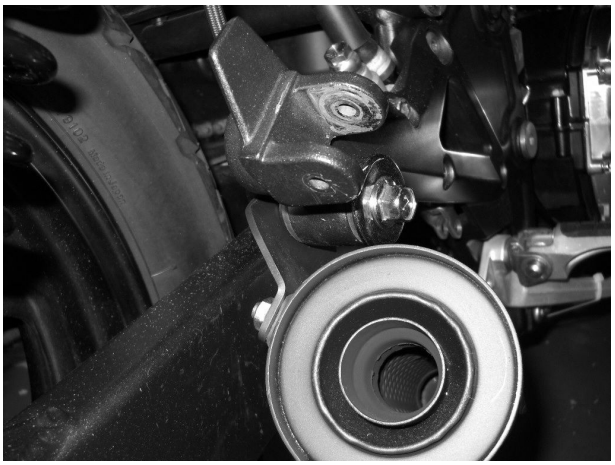
②　テールパイプの差込部の内側にあらかじめシール剤を適量に薄く塗布し、差込部の排気ガス漏れを防止します。

③　センタースタンドを外した穴に付属のグロメットラバーとグロメットカラーをセットします。



④　スイングアーム右側に設置されているチューブはスイングアーム中央に配置し直し、針金製のチューブガイドはスイングアームから取り外します。





４【製品取り付け】

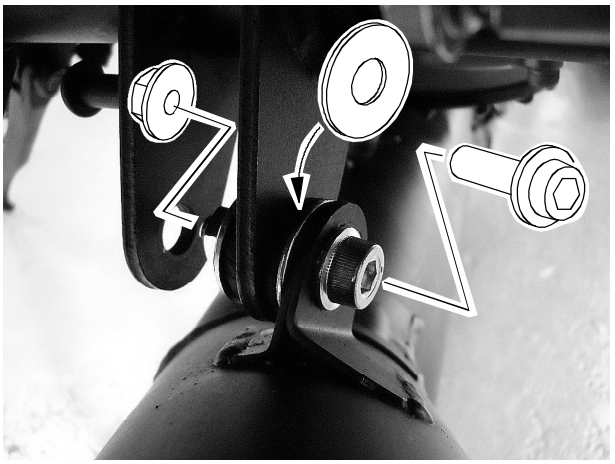
① フロントパイプの仮組み。

② テールパイプの組み込みと後方ボルトナットの仮組み。

③ テールパイプのフレーム下側ステーの仮組み。

④ パイプジョイント部のスプリングによる結合。

５【取り付け仕上げ】



以下の順序で本締めしていきます。

エンジンポート側、ＥＸ.フランジ固定　　**フランジナット**
Ｍ８　　**締め付けトルク(22[N.m]/2.2[kgf-m])**

マフラー後方（タンデムステップ側）　　**フランジボルト、ナット**
Ｍ１０ｘ４８　　**締め付けトルク(34[N.m]/3.5[kgf-m])**

フレーム下側　　**フランジキャップボルト、ナット**
Ｍ８ｘ３０　　**締め付けトルク(22[N.m]/2.2[kgf-m])**

各ボルトナット類の締め忘れが無いか確認します。
エンジンを始動し各部の排気漏れが無い事を確認します。

エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締付けを緩め、エンジンポートくちに的確になじむように締付けなおします。

エンジン始動後１５分程度は慣らし運転を行って下さい(吸音材の慣らし)。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

エンジン始動前に

リアサスペンションを上下にストロークさせて、各部干渉がないか確認して下さい。

各ボルト、ナットの締め忘れ、緩みがないか確認して下さい。

エンジンオイルレベルは、適量か確認して下さい。

エンジン始動直後に

マフラーの黒塗装をなじませるため、約５分間５，０００ｒｐｍ以下の空ふかしを行って下さい。

サイレンサー出口、サイレンサー下部からも白煙が出ますが性能上問題ありません。（１５分程度で消えます。）

ＥＸ．フランジ部、ジョイント部から排気漏れがないか確認して下さい。

乗車前に

エンジンからオイル漏れがないか確認して下さい。

取り付け不良等による異音の発生は無いか確認して下さい。

※火傷防止の為、作業はエンジンの熱が十分下がってから行って下さい。

6【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
したがってマフラー装着にともなうキャブレターなどのセッティングの必要はありません。
もしマフラー交換に伴う性能悪化が見られるなら、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

7【ＪＭＣＡについて】

全国二輪車用品連合会（ＪＭＣＡ）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。
「ＪＭＣＡ認定プレート」にて認可されたマフラーは、(財)日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

走行の際は同封の排出ガス試験結果証明書を携帯してください。

8【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。
記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
Home Page http://www.moriwaki.co.jp